

ローカル5G検討作業班 第24回 Sharing Design(株)発表資料

Sharing Design株式会社
8月31日

- 1 会社概要・取組事例のご紹介
- 2 ローカル5Gミリ波の有効活用について

1

会社概要・取組事例のご紹介

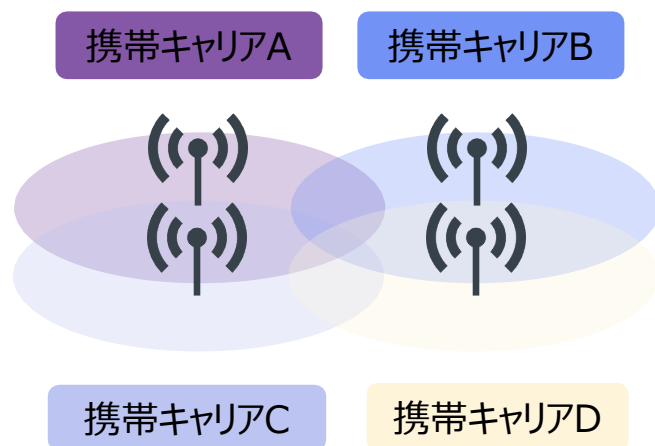
2

ローカル5Gミリ波の有効活用について

会社名	Sharing Design株式会社 (SDI)
設立年月	2021年2月
株主構成	住友商事株式会社 80% 東急株式会社 20%
代表	代表取締役社長 氏本 祐介
事業内容	4G/5Gを中心とした基地局シェアリングの提供（電気通信事業）

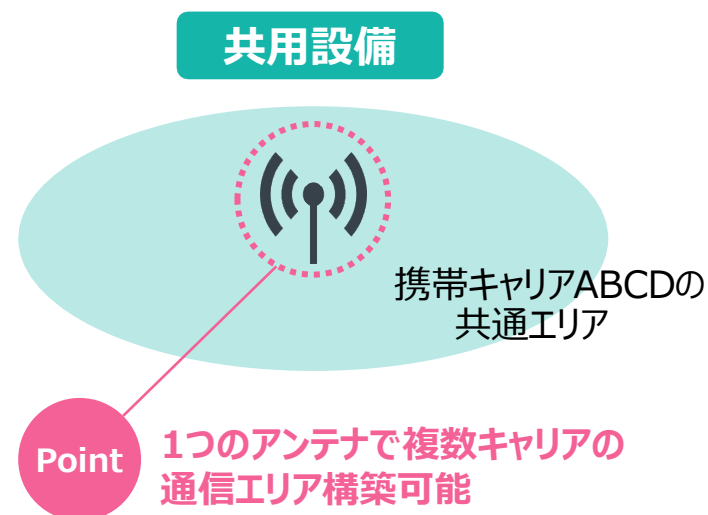
これまで

同じエリア内・建物内でも
各携帯キャリアが個別に基地局を設置



これから

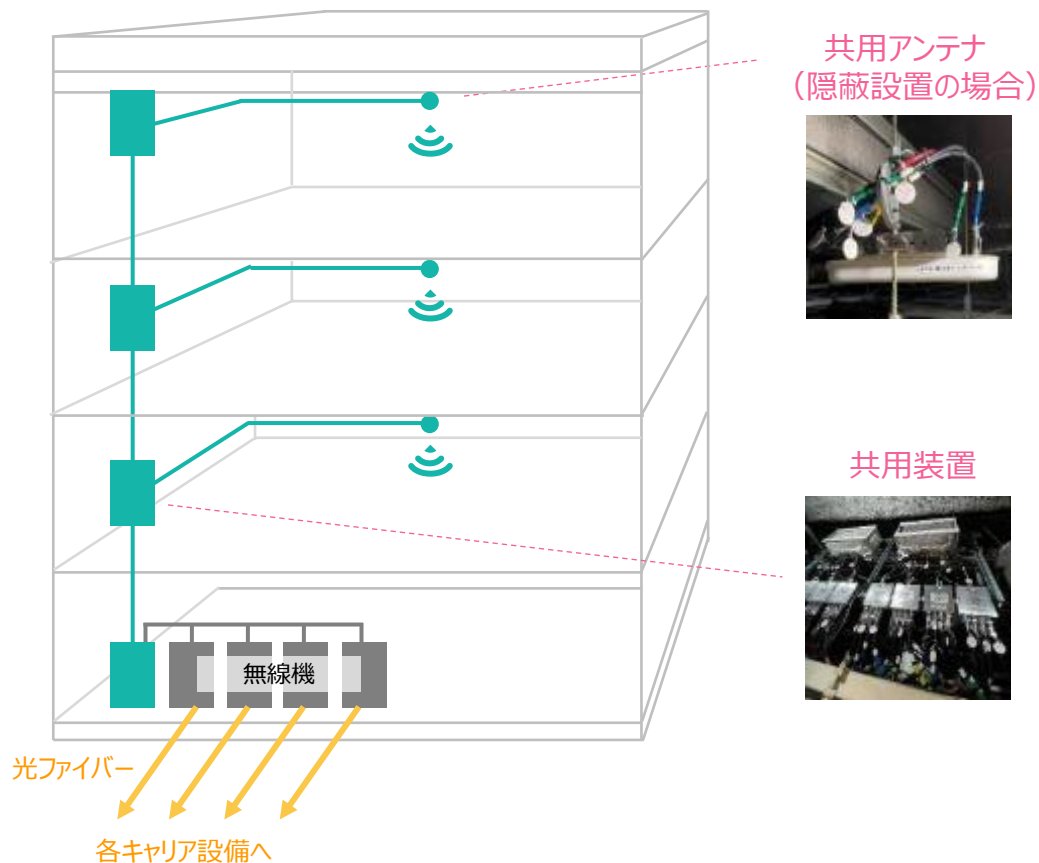
シェアリングによる設備共用



- 屋内・屋外で最適な手法を用いて館内・周辺エリアの通信エリアを構築

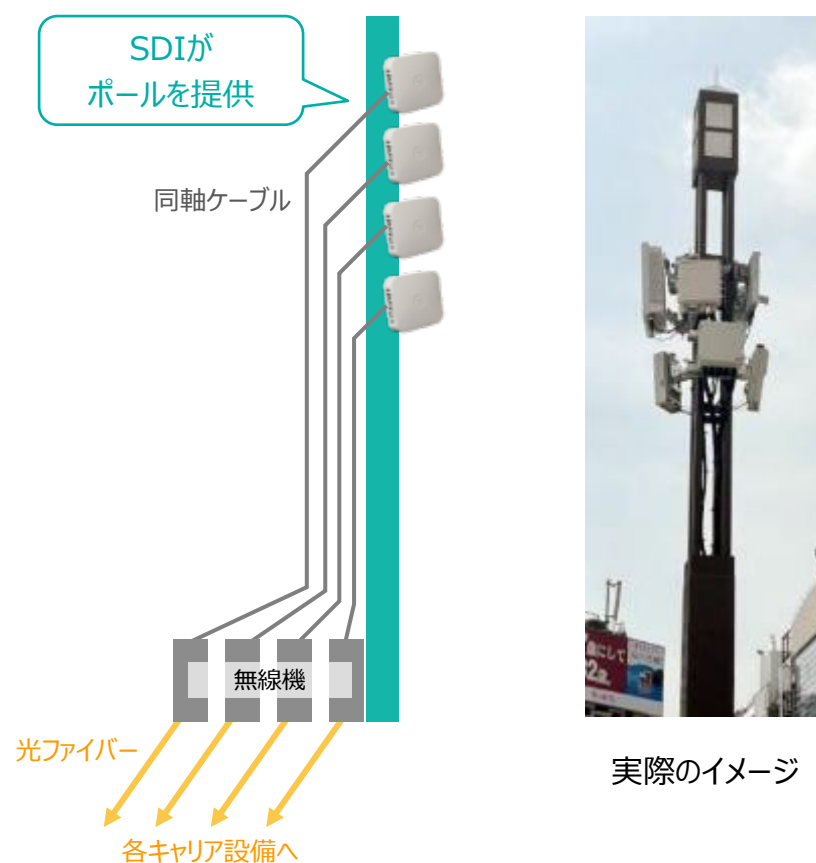
屋内ソリューション

- Distributed Antenna System (DAS) による
アンテナシェアリングで屋内を対策



屋外ソリューション

- スマートポール等によるサイトシェアリングをメインに
屋外を対策



実際のイメージ

- 不特定多数の人が集まる施設（商業施設、駅、空港等）を中心に導入推進中

商業施設



豊洲セイルパーク



テラススクエア



大手町プレイス



WATERRAS



世界貿易センタービルディング建替



赤坂二・六丁目地区再開発

駅・地下街



大阪メトロ 心斎橋駅



西鉄 天神駅



しぶちか

空港



仙台国際空港

放送関連施設



NHK川口施設

ホテル



MUWA NISEKO



星のやヒュッテ ニセコ

アリーナ



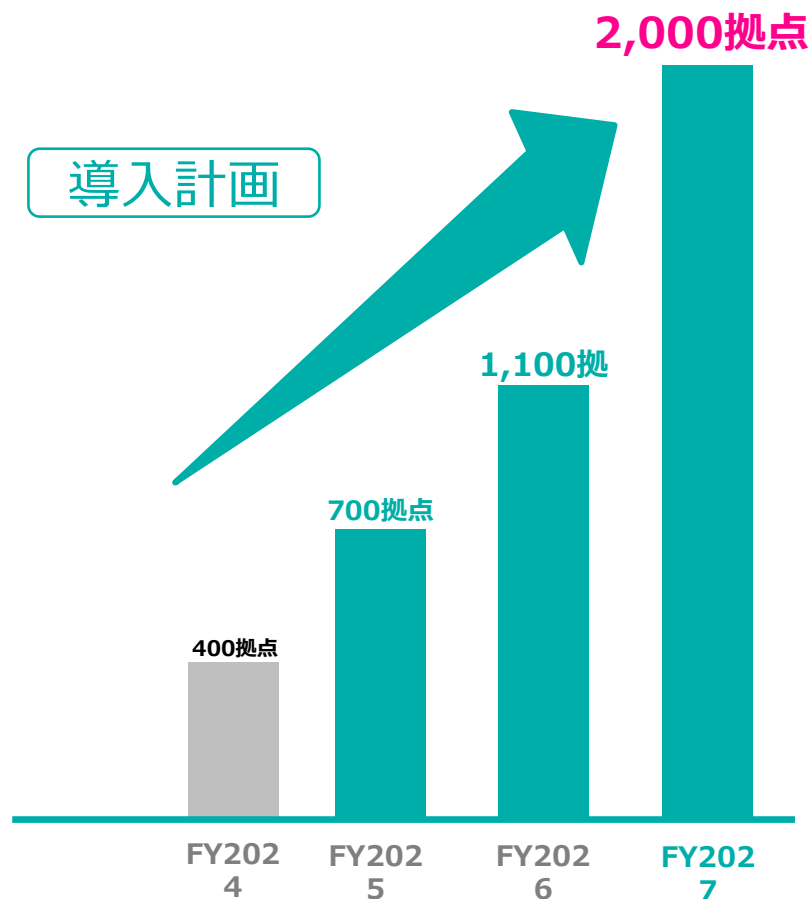
あなぶきアリーナ香川



三河安城交流拠点

etc.

- 会社設立以降、2025年度まで**全国各地約700拠点**に導入、2027年度までに**2,000拠点を計画**
- 社会・キャリア・施設・ユーザーの領域等に価値を生む、共創型インフラの取り組み



- 会場内の屋外及び主要屋内施設におけるインフラシェアリングでのエリア化実施
- 会場内の完全キャッシュレスに対応
- 20万人超/日の通信トラフィックに対応（28GHz帯含め、キャリアが有する全周波数帯を利用した対応）

屋外基地局 事例

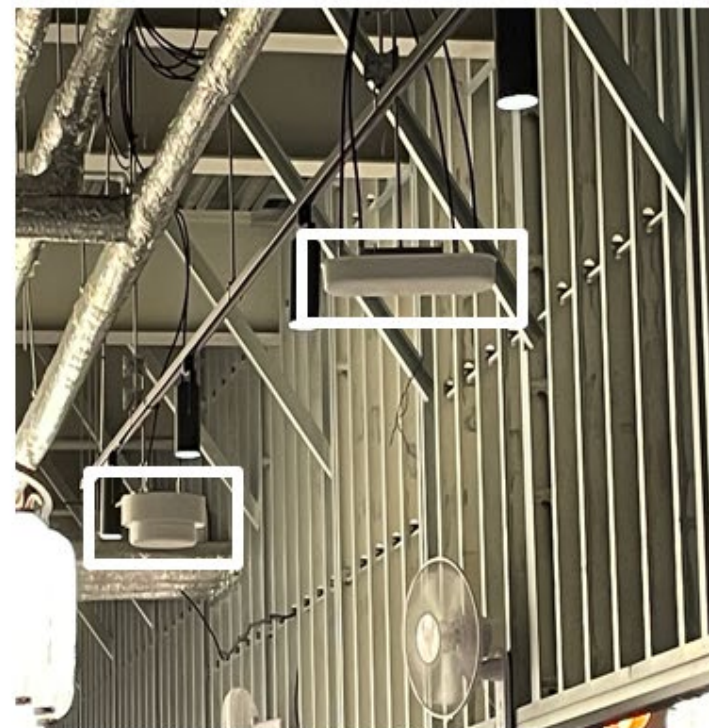


※来場者導線箇所(目隠しフェンスパターン)



※バックヤード箇所(通常フェンスパターン)

屋内基地局 事例

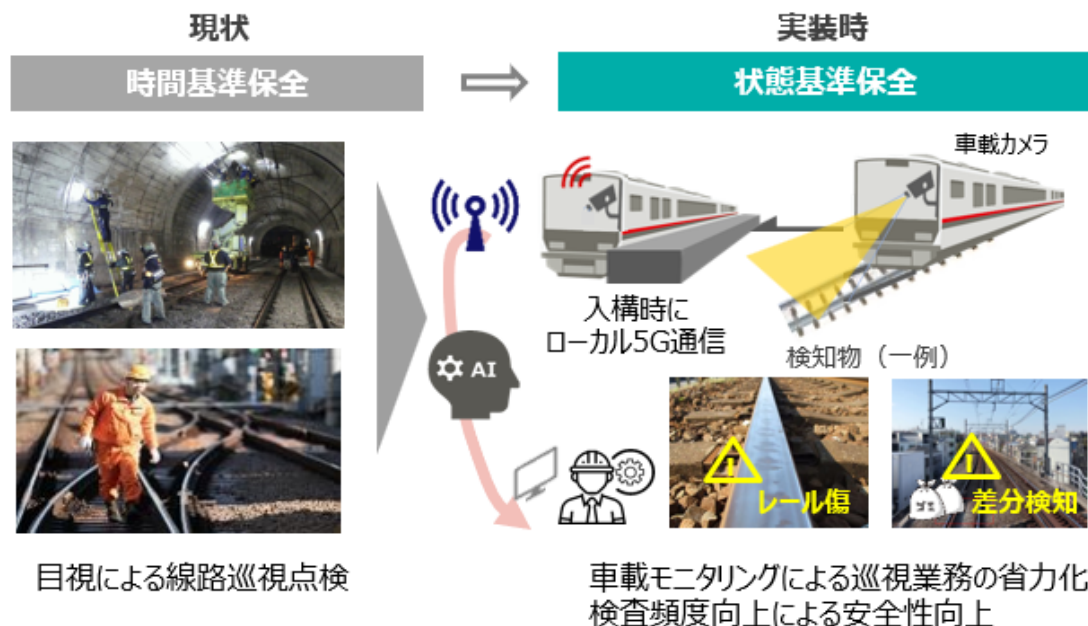


※露出許容箇所(アンテナ露出パターン)

- 株主である住友商事では、ローカル5GとAIを活用した鉄道設備の維持管理に関する取組を推進中
- 令和5年度実証において、当社開発の『全国5G／ローカル5G共用アンテナ』を構築
- 全国5Gとローカル5Gをシェアリングすることで、コスト低減・省スペース化を実現

令和5年度実証

ソリューション（線路巡視業務高度化）



実証フィールド



当社
機器設置

1

会社概要・取組事例のご紹介

2

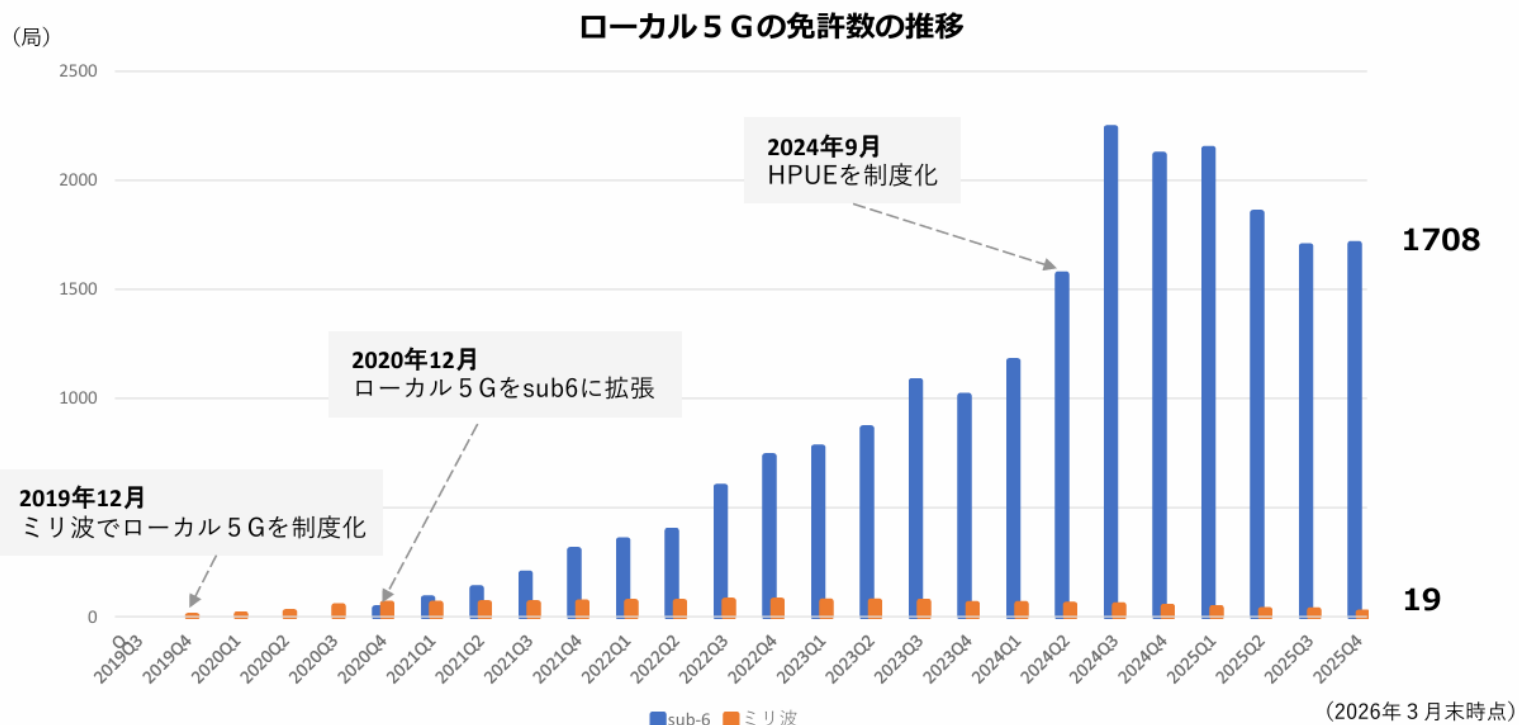
ローカル5Gミリ波の有効活用について

- ローカル5Gにおいて、Sub6帯の免許数は増加傾向も、ミリ波帯の免許数は極少・減少傾向

ローカル5Gの普及状況

2

- ローカル5G基地局の免許数は2026年3月末時点で1,708局。Sub6帯の基地局は総じてみれば増加傾向にある一方、ミリ波帯の基地局はピーク時から約3分の1に減少しており苦戦。（免許人数は、Sub6帯では141者、ミリ波では9者が免許を取得（2026年3月31日時点）。）



※26年7月『ローカル5G検討作業班の審議再開について』抜粋



